

今日の説教のポイント<マタイによる福音書 22 章 23~33 節>

①サドカイ派はなぜ復活を否定するのか？ 聖書読みの聖書知らず

サドカイ派が復活を否定するのは、復活が出て来ない律法書（創世記から申命記まで）だけを聖書と認めていたからです。復活は預言書のイザヤ書 26 章 19 節やダニエル書 12 章 2 節に出て来るのです。しかし、イエス様は「あなたたちは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている」（29）と言われて、あえて律法書の中の「私はアブラハムの神、ヤコブの神、イサクの神である」（出エジプト記 3 章 6 節）を引用されました。イエス様は、「神様は、死んだ父祖らのことを今も生きているように語っておられるのではないか。だから私たちも復活するのだ」と言われたのです。神様からのこの破格の恵みを聞き取らなければ、聖書を幾ら読んでも、聖書読みの聖書知らずで終わるのです。イエス・キリストの死からの復活はこの大いなる福音に関係しているのです！

②復活後の世界を、今の世界の延長上で想像してはだめ！

サドカイ派がイエス様にした質問は、「復活後の世界は今の世界と同じような世界である」ということを前提にしています。しかし、復活後の世界は、神様が全く新たに用意して下さる世界なのですから、今の世界の延長線上で考えることは思い違いをしています。パウロも、「**天上の体の輝きと地上の体の輝きは異なっている**」（I コリント 15:40）と表現して同じことを語っています。

③復活、それは今の私たちの生を変えてくれるもの！

パスカルは、生涯、服の裏に次のような言葉を縫い込んでいました。「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神。哲学者および識者の神ならず。確実、確実、感情、歓喜、平和。イエス・キリストの神。わが神、すなわち汝らの神。汝の神はわが神とならん」。復活は死後と関係するだけではなく、むしろ、私たちを「この神様がおられるのだ！」と思いながら生きられるようにしてくれる、今の生と関係する福音(good news)なのです！ パスカルの感激はそのことを表しているのです。